

整理番号	15-16	事務事業名	スズメバチ等駆除費補助事業	作成部署	市民環境部市民生活課	電話	内線825	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H9	根拠法令等	北広島市ハチ駆除費補助要綱					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	ハチ等による被害を未然に防ぐため、市民等に対しハチの駆除に要した費用の一部を補助することにより、その負担を軽減するとともに、早期発見早期駆除を促進する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	環境保全	(第3節)
	施策	良好な環境の保全と創出	(第4施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市内でスズメバチ等が営業した住居・土地等を所有する個人で、市が指定した駆除専門業者によりスズメバチ等を駆除した者	
	意図 (何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	巣を取り除くことにより、市民をスズメバチ等の危険から回避する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	補助金の交付(1件 7,000円) 通常期 普通場所 10,500円 困難場所 13,650円 危険期 普通場所 12,600円 困難場所 15,750円
		17年度	補助金の交付(1件 7,000円) 通常期 普通場所 10,500円 困難場所 13,650円 危険期 普通場所 11,550円 困難場所 14,700円

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	770	721	700	700
	合 計	770	721	700	700
人 件 費 (概算)	人 数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	2,700	2,700	2,700
総 事 業 費 +		3,470	3,421	3,400	3,400

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	補助件数	110件	103件	100件	100件
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	補助件数	110件	103件	100件	100件
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	補助1件当たり経費	31,545円	33,214円	34,000円	34,000円
	(総事業費 / 補助件数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	ハチの活動は気温の高低等に左右されるが、今後も毎年一定量の営業が見込まれる。他市町村の補助状況は、全額補助・一部補助・全額自己負担と対応が異なっている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の安全を確保するため、行政が実施することは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	ハチの危険を市民から回避するために、妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	巣の駆除は、危険が伴うため、専門業者に委託し補助金を交付することは、妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	個人の敷地内であり自己管理という面もあるが、近隣への影響もあり補助金の額としては、妥当である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市への相談者以外の営業状況は把握できないが、概ね成果は上がっている。	ハチの危険性を含め、一層の広報活動を行なう必要がある。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	駆除専門業者へ委託し補助金を交付する手法は充分効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	現状では他に方法も無いため継続とするが、補助金額については近隣市町村の状況等を考慮し、検討を行なう。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	他市町村では、全額補助・一部補助・全額自己負担など対応が異なっているという状況にある。補助の妥当性について再度検討していくこと。